

■2026 年度 事業計画 にじいろの奏（共同生活援助）

はじめに	昨年もメンバーの皆さん、スタッフと大きな病気や怪我も無く 2026 年を迎えることができました。インフルエンザ、コロナもちらほらと蔓延り、現状ではマスク、消毒が日常的に生活の一部となっています。これが良いことか？悪いことか？分かりませんが、自分や皆さんを守る手段の一つとして、状況に応じて対処し引き続き 2026 年度もスタッフ一同、健康で安全な暮らしを精一杯支えていきたいと思っております。
事業所の基本方針	それぞれが希望する暮らしを支えて行きながら、メンバーの皆様が安心して暮らせるグループホームであるよう努めます。
事業所運営	メンバーの皆様が、安定した体制を維持して行く為、管理者のもと 3 つのグループホームで協力、共有していきたいと思います。
利用者支援	メンバーの皆様も、元気に明るく過ごされています。今後も、寄り添いながら時間をかけて不安な事も安心へと転化させて行ければと考えています。また健康面などについては、ご家族、看護師とも相談をしながら支えて行きます。
今年度重点目標	引き続き変わらぬ支援の形を継続して行きます。会議などを通し、メンバーの皆さんの支援については実践と振り返りを通して質の高いサービスを提供して行きます。特に、健康面にも気をつけて参ります。
活動計画	2026 年度も休日などは基本、グループホーム内での活動を予定しております。行事等に関しては状況により考えていきたいと思います。
豊かな生活を送るための取り組み	昨年度に引き続き、季節の行事（クリスマス、誕生日会など）を行い、それぞれの希望や意見を尊重し、楽しく暮らせる方法を考えていきたいと思っております。
その他・防災対策	年間 3 回の避難訓練(火災・地震・夜間)をパレットと合同で行います。夜間を想定した訓練も行い、町内の訓練なども可能な限り参加が出来たらと考えています。
利用者の状況	30～50 歳の女性 4 名
職員の状況	常勤職員 1 名、パート職員 4 名・清掃パート職員 1 名 ★1 月までホット職員が 1 名週 2 回来てくれています。(夜勤 1 回)